

「徳島県幼児教育振興アクションプラン」に係るパブリックコメントに対する回答

平成20年12月8日(月)から平成21年1月6日(火)までの間、パブリックコメント制度による意見を募集したところ、3人の方から13件のご意見・ご提言をいただきました。

第1章 基本的な考え方

No.	ご意見の趣旨	県の考え方
1	「三つ子の魂百まで」という言葉があるが、幼児期の教育は非常に重要である。教育基本法や学校教育法の改正により、これまで以上に幼児教育の重要性が打ち出されたが、「徳島県幼児教育振興アクションプラン」が策定されるにあたり、県民をあげて幼児教育の充実に取り組んでいかなければならないと思う。今回、県が幼児教育の重要性を踏まえ、率先してこうした方針を示した姿勢は大変良いことだと思う。設置者や幼稚園にとってもよい刺激となり、やる気も出てくるのではないだろうか。	県教委としましては、本県幼児教育の機会均等と教育水準の維持・向上が重要であると考え、県内の設置者等に対し、国の動向や徳島県教育振興計画などを踏まえた本県幼児教育の方向性を示すために、本アクションプランを策定しました。「第1章徳島県幼児教育振興アクションプランの基本的な考え方1策定の趣旨」の中に記載しているように、今後本アクションプランが活用され、地域における実態や特色を踏まえた幼児教育の振興・充実が図られることを期待します。
2	「徳島県幼児教育振興アクションプラン」の基本理念に、「子どもは国の宝」であることを明記する。	「第1章徳島県幼児教育振興アクションプランの基本的な考え方1策定の趣旨」の中で、「次代を担う子どもの健やかな成長」と記載しております。今後は、本アクションプランを踏まえ、将来の日本及び徳島県を担う子どもの健やかな成長に向けて積極的に幼児教育を推進します。

第2章 施策の基本方針

No.	ご意見の趣旨	県の考え方	
3	幼児期において「しつけ教育」を徹底する。	「1充実した幼稚園教育の提供(1)教育内容の充実」及び「4家庭や地域社会の教育力の再生・向上」の中で、心の教育などに取り組んでまいります。	
4	幼稚園児に「人を思いやる心」や「生命の尊さ」の教育を行う。		
5	絵本の読み聞かせなど、幼児教育における「情操教育」の重視に努める。		
6	幼稚園の遊戯の時間にお手玉の遊びを推奨する。		
7	幼稚園の音楽の時間に「祖谷の粉ひき唄」、「鞠と殿様」等の民謡・童謡を推奨する。		
8	幼稚園児に「論語」を読み聞かせる。		
9	幼稚園の積み木のおもちゃについては、県産の間伐材で作った積み木を使用する。		
			「1充実した幼稚園教育の提供(1)教育内容の充実」の中で、今後の参考とさせていただきます。

No.	ご意見の趣旨	県の考え方
10	<p>発達や学びの連続性とあるが、小学校段階の様々な課題を解決していくためには、その前の段階である幼稚園教育を充実させていかなければならないと思う。それと同時に、幼稚園と小学校がもっと交流し、連携を深めながら子どもの成長を支援していかなければならない。徳島県の場合は、小学校と併設している幼稚園が多いので、これまで以上に幼小の連携を推進していかなければならないと思う。</p>	<p>県教委としましても幼小の連携は重要視しており、「2発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実(1)小学校との連携・接続の強化」の中で、取り組んでまいります。</p>
11	<p>幼稚園等における幼児教育が、小学校の初等教育につながる教育となるようにする。</p>	
12	<p>保育士の資質向上に努める。(幼稚園に勤務する保育士は、全員四年生大学の初等教育科又は児童学科等の卒業以上とする。)</p>	<p>幼稚園で直接保育にあたる者は、幼稚園教諭としての免許が必要となります。「3教員の資質及び専門性の向上」の中で、今後の参考とさせていただきます。</p>
13	<p>かつて三世代同居の家庭においては、家庭の教育力は相当程度あった。しかし、現在では三世代同居の家庭においても、以前のような家庭の教育力は期待できなくなっている。現在、多数を占めている核家族においては、教育力の低下に甚だしいものがある。県教委の打ち出している家庭の教育力の再生・向上を支援していく取組に大いに期待している。幼児期の教育こそが、人づくりの土台になる。</p>	<p>幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、人づくりの土台となります。県教委としましても、家庭の教育力の向上については重要視しており、「4家庭や地域の教育力の再生・向上」の中で、取り組んでまいります。</p>